

交流人口拡大に向けた主な取り組み

【各種イベント】

● 北海道新幹線開業記念イベントの実施

趣 旨：開業前、開業時、開業後の大きく3つのイベントを開催し、気運の醸成を図り、あわせて賑わいを創出するとともに、地域の魅力を全国に発信する。

主 催：函館市新幹線開業記念イベント実行委員会（平成26年5月19日設立）
 函館市、函館商工会議所、函館国際観光コンベンション協会、
 函館朝市協同組合連合会、函館都心商店街振興組合、北海道新聞函館支社、
 JR北海道函館支社、（オブザーバー：北海道）

○ 開業前イベントの開催（平成26～27年度）

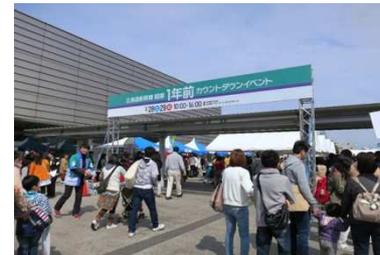
・ 開業記念キックオフイベント

開催日：平成26年10月11日（土）～12日（日）
 場 所：五稜郭公園，五稜郭タワーアトリウム
 概 要：キックオフ宣言式，ミニ新幹線乗車会，
 新幹線ジオラマプロジェクト，
 新幹線クイズ大会，新幹線PRパネル
 コーナーなど



・ 開業1年前カウントダウンイベント

開催日：平成27年3月28日（土）～29日（日）
 場 所：JR函館駅舎，駅前広場
 概 要：カウントダウンセレモニー，南東北・
 北関東・道南の味覚コーナー，
 ウェルカム新幹線！体験コーナー，
 道南の郷土芸能ステージなど



・ 開業300日前カウントダウンイベント

（花と緑のフェスティバルに合わせて開催）
 開催日：平成27年6月27日（土）～28日（日）
 場 所：JR函館駅，グリーンプラザ（Cブロック）
 概 要：オリジナル花壇，新幹線クイズ大会，
 新幹線サイエンスショー，
 函館名湯足湯コーナーなど



・ 開業200日前カウントダウンイベント

（はこだてグルメサーカスに合わせて開催）
 開催日：平成27年9月5日（土）～6日（日）
 場 所：JR函館駅，大門パーキング（予定）
 概 要：新幹線ランド，新幹線模型展示，
 グランクラスシート体験，
 新幹線シミュレーターなど



- ・ 開業 100 日前カウントダウンイベント
 (クリスマスファンタジーと連携し開催)
 開催日：平成 27 年 12 月 5 日 (土) ～6 日 (日)
 場 所：J R 函館駅，金森ホール
 概 要：点灯式での新幹線 P R，
 東北地域の食・物産広場，
 東北地域の郷土芸能ステージ



○ 開業時イベントの開催 (平成 27 年度)

- 時 期：平成 28 年 3 月予定 (開業日当日，翌日)
- 場 所：函館駅，函館駅前広場，朝市駐車場ほか
- 概 要：(2 日間) はこだて食堂，郷土芸能ステージ
 新幹線沿線食堂，新幹線沿線自治体観光 P R ブース
 (開業日夜) ナイトステージ，学生レストラン，
 新幹線カラーの花火や映像による光の演出



○ 開業後イベント (メインイベント) の開催 (平成 28 年度)

- 時 期：平成 28 年 7 月～9 月
- 場 所：函館駅および周辺地域，グリーンプラザほか
- 概 要：新幹線開業により，北海道の新たな玄関口となる函館に，道内各地の
 グルメ・物産・観光の魅力が集結。青森県・函館 D C に合わせた
 ロングラン開催により，多くの観光客の皆様には北海道をまるごと体験
 していただき，新たなリピーターの獲得に繋げる。

● 函館・東北チャリティープロモーション

- 開 催：平成 23 年度～ (年 1 回)
- 会 場：札幌大通公園 8 丁目
- 目 的：東日本大震災の復興支援とともに，函館市が東北
 と北海道の架け橋としての役割を果たしながら，
 観光をはじめとする交流を深める。
- 内 容：函館・みなみ北海道および東北の「食・観光」の
 魅力を発信
- 来場者：約 64,000 人 (平成 26 年度)
- ※ 平成 27 年度は 6 月 27 日 (土) ～28 日 (日) に開催



● 道内他都市のまつり・イベント会場における北海道新幹線PR

開催日：平成27年7月～9月

開催場所：道内8市（北見市，小樽市，室蘭市，
苫小牧市，帯広市，登別市，釧路市，
旭川市）ほか

協力：北海道，北斗市，木古内町，七飯町，
札幌市

※ 新幹線開業を北海道全体で盛り上げるため，
道内8市で開催されるイベント会場で開催PRパネルの展示や沿線地域の観光パン
フレット等の配布などにより，新幹線のPRや地域の魅力を紹介



● はこだてグルメサーカスの開催

開催日：平成27年9月5日(土)～6日(日)

目的：新幹線開業を見据え，中心市街地の活性化と広域からの観光客誘致

出展数：約110店(平成26年度)

来場者数：16万9千人(平成26年度2日間計・実行委員会発表)

実行委員会：函館市，函館商工会議所，函館国際観光コンベンション協会，
函館朝市協同組合連合会，はこだてティーエムオー，
函館都心商店街振興組合，北海道新聞函館支社

● 函館・みなみ北海道グルメパーク

開催日：平成23年度～(年1回)

場所：東北新幹線沿線(仙台・大宮等)

目的：北海道新幹線開業PR

内容：函館・みなみ北海道および東北の「食・観光」
の魅力を発信

来場者：約64,000人(平成26年度・さいたま市)

※ 平成27年度は11月21日(土)～23日(月)に開催



● 「ふるさと祭り東京2016」への参加

開催日：平成28年1月8日～17日

開催場所：東京ドーム

概要：日本の祭りと食を集めた
イベントにおいて，新幹
線開業と函館観光や食を
PR

来場者数：約42万人(10日間)
(平成26年度)



【まちづくり】

● 中心市街地活性化に関する取り組み

函館市中心市街地活性化基本計画

計画期間：平成 25～29 年度

計画区域：現函館駅前・大門地区～本町・五稜郭・梁川地区（約 200ha）

計画事業：函館駅前若松地区第一種市街地再開発事業（WAKOビル）、グリーンプラザ整備事業、はこだておもしろ館整備事業、観光センター整備事業、函館本町地区優良建築物等整備事業（旧グルメシティ五稜郭店の再開発）など

● 函館アリーナ整備事業の実施

開館予定：平成 27 年 8 月

所在地：函館市湯川町 1 丁目 32 番 2（函館市民会館に隣接）

[駐車場 287 台。大型バス待機スペース、タクシーベイを完備。
大規模イベント時には、ともえひろばや前庭を臨時開放。]

概算事業費：79 億円超（見込み）

施設概要：メインアリーナ～規模 2,860 m²，固定 2,120 席（収容人数 5,000 席）

サブアリーナ～規模 1,000 m²，固定 208 席（収容人数 1,044 席）

その他の施設～武道館，多目的会議室，スタジオ

● 函館フットボールパーク整備事業の実施

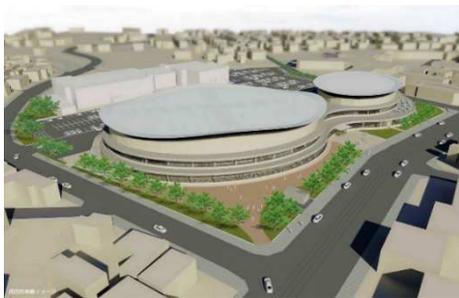
供用開始予定：平成 27 年 8 月（供用期間：3～12 月）

所在地：函館市日吉 4 丁目 50 番 5 および 7 番

[駐車場 202 台。大型バスも利用可。]

概算事業費：約 15 億円

施設概要：サッカー・ラグビー兼用コート 2 面，フットサルコート 3 面，ナイター照明



（函館アリーナ完成イメージ）



（函館フットボールパーク完成イメージ）

【二次交通等】

● 函館市公共交通のあり方検討

平成 25 年度 函館市生活交通協議会が報告書を作成

平成 26 年 5 月 市が函館市地域公共交通総合連携計画を策定

平成 27 年 3 月 函館市生活交通協議会が生活交通ネットワーク計画を策定

※ 平成 27 年度においては、市が策定を予定している地域公共交通網形成計画をもとに、地域公共交通の再編を具体化するため、地域公共交通再編実施計画を策定予定

● 二次交通の充実化（北海道新幹線新函館開業対策推進機構）

- ・ 観光路線バスの充実化

函館市内の観光スポットを巡回している観光路線バスのバス車両の外観整備，ならびに観光支援機能を伴ったバス停の新設整備

- ・ 交通系観光ガイドマップの作成

新函館北斗駅と市内拠点を結ぶバス路線網や観光地の情報を一元化したガイドマップの作成

● 函館新外環状道路の整備（国土交通省）

本路線は、北海道縦貫自動車道や函館・江差自動車道、国道 5 号函館新道と一体となって、高速交通ネットワークを形成するとともに、北海道新幹線と函館空港を結ぶことにより、道内各都市圏との連携を強化するために重要な路線である。

赤川 IC 供用開始：平成 27 年 3 月（函館空港 IC 供用予定：平成 32 年度）

函館 IC～函館空港所要時間：現在約 29 分が完成後約 10 分（約 19 分の短縮）

● 新駅・現駅間の鉄道アクセスの充実に向けた取り組み（JR北海道）

函館線五稜郭・渡島大野間の電化工事概要

（はこだてライナー）

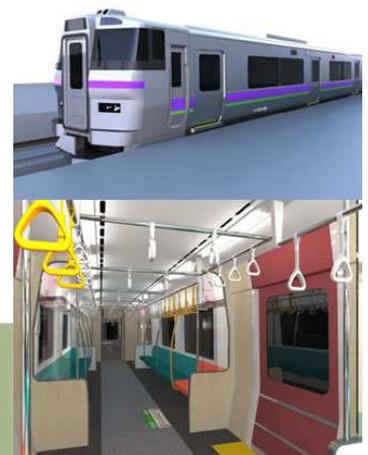
工事区間：函館線五稜郭・渡島大野間 14.5 km

電化方式：交流 2 万ボルト（函館線函館・五稜郭間は交流 2 万ボルトで電化済）

総工事費：約 18 億円

工 期：平成 25 年 3 月～平成 27 年度（新幹線開業前）

※ 電化により、新駅・現駅間の所要時間は快速で約 17 分（約 8 分短縮）程度となる見込み



● 北海道新幹線の並行在来線に対する取り組み

北海道新幹線の開業に伴い、JR北海道から経営分離される並行在来線の江差線（五稜郭・木古内間）を、地域の公共交通機関として存続維持するため、北海道と沿線市町（函館市・北斗市・木古内町）により「道南地域（五稜郭・木古内間）第三セクター鉄道開業準備協議会」を組織し、新幹線開業時の第三セクター鉄道開業に向けた準備をしている。

- ※ 平成26年8月 三セク鉄道会社「北海道道南地域並行在来線準備株式会社」設立
- 平成27年1月 「道南いさりび鉄道株式会社」に会社名変更
- 平成27年3月 鉄道事業許可を国土交通省へ申請



【広域連携】

● 青函圏観光都市会議

- 設立：平成25年3月30日
- 構成：青森市・弘前市・八戸市・函館市
- 目的：4市の広域連携によって広域観光エリアを形成し、その観光の魅力の増進により、国際競争力を高め、内外からの観光旅客の来訪及び滞在を促進する。
- 事務局：函館市観光部観光推進課
- 内容：PR媒体の作成
効果的なプロモーションの創出
周遊・滞在を促す仕組みやキャンペーンの構築



- ※ 4市人口の合計は約100万人に達する。
- ※ 新幹線開業後の2016年4月～2017年2月まで「青函圏周遊博」を函館市と青森県3市で実施する予定であり、展示館などは新設せず、街をパビリオンに見立て、周遊型の通年イベントとする。

● 北海道新幹線開業 青函圏・みなみ北海道連絡会議

- 設立：平成27年1月15日
- 構成：渡島，檜山，胆振，日高，後志，青森県の10市36町1村・函館商工会議所・函館国際観光コンベンション協会
- 目的：北海道新幹線開業による経済効果を最大限享受し、青函圏・みなみ北海道の観光振興を推進する。
- 事務局：函館市観光部観光推進課
- 内容：各地域のイベント情報を集約し、情報発信を図る。
平成26年4月から公式サイト「みなみ北海道・青森イベントインフォメーション」により、イベント情報を一元的に発信

【その他】

● プロモーションの展開

概要：国内外からの誘客を図るため、トップセールスを含めた各種プロモーションを展開

主な内容：①北関東および南東北等をターゲットにした函館キャンペーン
②JR 6社と関係団体・事業者と連携した青森県・函館エリアへの誘客を図る青森県・函館デスティネーションキャンペーン
③市内の観光事業者等と連携し、修学旅行誘致に向け東北地域の小・中学校や旅行代理店等を訪問

● 新幹線ラッピング電車・路線バスの運行

時期：平成26年10月1日から

概要：北海道新幹線用車両（H5系）の外観デザインを模したカラーリングの市電・路線バスを運行し、気運の醸成を図る。



● 北海道新幹線H5系函館港入港歓迎セレモニー

主催者・来賓と幼稚園児によるくす玉割り，消防音楽隊による祝いの演奏，幼稚園児による「はしれ超特急」の合唱により，初上陸を祝った。

開催日：平成26年10月13日(月)

場所：函館港港町ふ頭

主催：JR北海道，函館市

